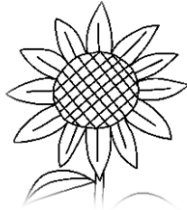


67期生

# 3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2021年3月5日(金) No.49



## 67期 人権聞き取り学習

2月25日(木) 3、4限 体育館にて

『夢バトンの継承 ~今、五中生に伝えたいこと~』

とよなか人権文化まちづくり協会の酒井留美さん、重本洋輔さんのお話でした。お二人は五中の卒業生で、みんなの先輩です。

これから五中を卒業し、それぞれの道へと進んでいくみなさんにとって、先輩からの大切なメッセージは、大きな勇気や力となることでしょう。

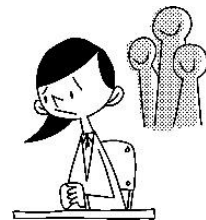


### <『差別』について>

外国人だから・・・ クラスが違うから・・・ グループが違うから・・・  
男だから・・・ 女だから・・・ 男の子なのに・・・ 女の子なのに・・・  
あの学校に行ってるから・・・ 住んでる地域が、そこだから・・・  
生まれた地域が、あそこだから・・・

さて、『なぜ、差別するのですか?』いかなる理由も差別する理由には なりません。  
差別される側に思い当たる節はない。

そんなことで差別されてるの?って思います。



差別されたら、「がまんすればいい。無視したらいい。」というのでは、差別は、なくならないのです。解決しないのです。



自分の周りには、いろんな人が暮らしていることを理解してください。

個性の違う人、外国人、LGBTQ や障害で悩む人、高齢者  
何が悩みかわからないけど悩んでいる人・・・



### <人と人の関係>

人と人が対面して話をしたり、つきあったり、友だちでいたりするとき、人と人は対等な関係であることが自然 です。

『こだまのように響き合う』関係 だと素敵です。

人は、自然と『自分らしく生きたい。』と思うものです。  
ならば、友だちと生きあおう。相手のことを知ろう。

友だちの話に耳を傾け、もっと知ることで、あなたから

友だちの悩みに寄り添うあなたのやさしさが、あふれることでしょう。



### <生きづらさ>

生きづらさを感じたことはありますか? やりたいことができないとき、友だちとスムーズな関係が保てないとき、ふとした言葉が怖いと思ったとき。

・・・なかまや友だちの何気ない会話に隠れている『差別の意味をふくむ言葉』。  
発言したなかまは、差別の意識もなく、『差別の意味をふくむ言葉』にすら、気づかないことがあります。

67期のみなさんは、ぜひその気づきを大切にしてください。



人が、一生の間に出会える人の数には、限りがある。

『出会い』を願ってれば、素晴らしい出会いができるし、出会うべき人を自分が呼び込むことで、よい出会いができることでしょう。

ぜひ、よりよい学びができる人とめぐりあってください。



「人」としての相手の存在を認め、「人」としての自分の存在を

認め、認められる関係をすべての人に。

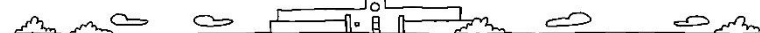
差別はダメだと思っけていても、部落問題(就職差別、結婚差別など)を他人事として考えてみると、いざ自分にふりかかったとき、差別をする人になってしまうところが怖いのです。『みんな同じ人間だよ。個性は違っても、みんな同じ人間。』

ひとりじゃないねんで。  
あなたの荷物をかわりに持つことはできないけれど、  
あなたの手に  
私の手を添えて歩きだすことができるねん。

さて今、みなさんは先輩から受け継いだ五中の夢バトンを握れていますか?

### 差別に出会ったとき、自分だったらどうしますか?

五中生以外の方にも、この夢バトンを広げましょう。受け継ぐ人やなかまが増えると『みんなが生きやすい社会』に近づくことでしょう。



第67回卒業式まで

あと **7日**